

# [PHPLinux版] 監視モニター I

初期化: どんなものか作ってみよう

---

# [PHPLinux] 監視モニター初期化

## ビジュアル監視の初期化の必要性

監視アプリを正常に動作させるため、動作環境の整合性を確保する

## 初期化実施のタイミング

OSおよび監視アプリに必要な関連ソフトのインストール時

監視アプリのインストールハードウェアの変更時

データベース再構築時

監視アプリおよび関連ソフトの移行時

その他、必要に応じて実行

## 初期化する手段

変数、パラメータを設定、初期化アプリを実行する

## 難易度

初期化に必要なPHPパッケージインストールが出来れば構築出来ますが  
トラブル発生時の対応にはPHPおよびシェルスクリプトの知識も必要です

また、カスタマイズには次の知識が必要です

### snmpの知識

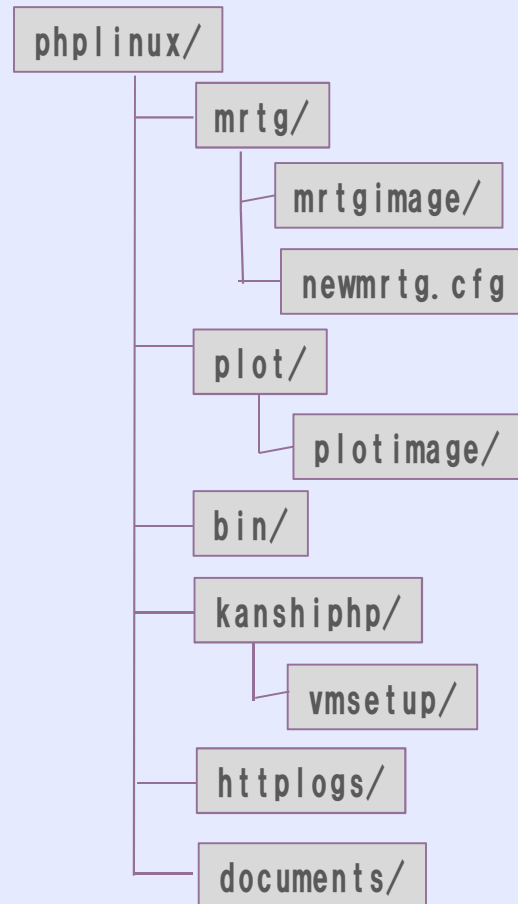
監視およびグラフ取得する場合は、監視対象にsnmpマネージャと  
snmpエージェントサービスが必要です

### メールの知識

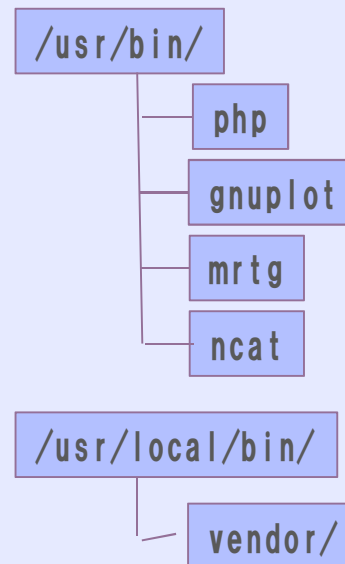
イベントをメールサーバへ送信するためのメールサーバーの  
構築、設定が必要です、但し認証なしの25ポートまたは  
SMTP認証の587ポートのサーバがあれば利用出来ます

# [PHPLinux] 監視ディレクトリ構成

## 監視アプリ



## パッケージ



## 動作確認パッケージバージョン

gnuplot-4.6.2

mrtg-2.17.4

httpd-2.4.6

PHPMailer

Net-Snmp-5.7.2

MariaDB-5.5

## [PHPLinux] 監視システム構築手順

1. ディレクトリ作成またはGithubからCLONE
2. パッケージインストール
3. 監視アプリをコピー
4. 変数、パラメータ設定
5. 監視アプリで初期化
6. 最初のログイン
7. 構築後の機能制限
8. 機能拡張
9. 初期化後画面と構成

# [PHPLinux] 監視システム構築手順

## 1. Github からCLONE

任意の場所にディレクトリ構成を作成する、またはGithubからCLONEしたものをディレクトリとするか

## 2. パッケージとアプリケーションの配置 例

```
/var/www/html/kanshiphp/  
/var/www/html/kanshiphp/vmsetup/  
/var/www/html/mrtg/newmrtg.cfg  
/var/www/html/mrtg/mrtgimage/  
/var/www/html/plot/plotimage/  
/var/www/html/httplogs/  
/var/www/html/bin/  
/usr/bin/mrtg  
/usr/bin/php  
/usr/bin/gnuplot  
/usr/bin/snmpget ...  
/usr/local/bin
```

監視アプリ

監視アプリ初期化

mrtgコンフィグ

mrtgグラフィメージ

gnuplotグラフィメージ

apacheログ

シェルスクリプト

mrtgプログラム

phpプログラム

gnuplotプログラム

net-snmpプログラム

PHPMailer

## 3. 監視アプリのコピー

任意のディレクトリで構築する場合はGithub CLONE構成の監視アプリをコピーする

# [PHPLinux] 監視システム構築手順

## 4. 変数、パラメータ設定

### 4.1 PATH変数にパッケージ関連のパスを追加 例

○/usr/local/bin

### 4.2 監視アプリ初期化変数

Gitのディレクトリと構築先ディレクトリ例

Git /visualmonitor/phplinux/ = 構築先 /var/www/html/

○vpath\_php = “/usr/bin/php “

○vpath\_kanshiphp = “/var/www/html/kanshiphp”

○vpath\_mrtghome = “/var/www/html/mrtg”

○vpath\_plothome = “/var/www/html/plot”

○vpath\_weblog = “/var/www/html/httplogs”

○vpath\_htdocs = “/var/www/html”

○vpath\_kanshibin = “/var/www/html/bin “

○vpath\_phpmailer = “/usr/local/bin “

### 4.3 Mysql初期化変数

\$vpath\_kanshi/vmsetup/mysqlsetup.cfg

[mysql]

○kanshi\_host= “localhost”

○kanshi\_user= “kanshiadmin”

○kanshi\_pass= “kanshipass”

×kanshi\_db= “kanshi”

[existing]

×kanshi\_host= “localhost”

×kanshi\_user= “root”

○kanshi\_pass= “admin”

注：Xは変更不可、順序は変えないこと

… mysqlインストールホスト

… Mysqlユーザー

… mysqlユーザーパスワード

… DB名 “kanshi” であること

… “localhost” であること

… “root” であること

… Mysql既存rootパスワード



## [PHPLinux] 監視システム構築手順

### 5. 監視アプリの初期化

#### 5.1 初期化するもの

○mysql 監視ユーザ、パスワード、DB、テーブル作成、初期データ挿入、mysqlkanshi.php作成

○mrtgのWorkDir設定

注意：cfgは、\$vpath\_mrtgbase/newmrtg.cfgを使用する

#### 5.2 シェルで初期化実行

php-mysqlが必要です、警告 (Warning) は無視できます

\$vpath\_kanshiphp/vmsetup/

*sudo php init\_mysql5.php* ... ユーザ、パスワード、DB、mysqlkanshitmp.php作成

*sudo php init-mysqldbset.php* ... テーブル作成

*sudo php init-mysqlinsert.php* ... データ挿入

*sudo php init-workdir.php* ... Workdir設定

*sudo php init-instcheck.php* ... mysqlkanshi.php再作成 同日に2回実行できません

後継mysql.MariaDBのパスワード無設定が出来ない場合、init-mysql5.phpを処理を手動で実行します

#### 5.3 パッケージパラメータ修正

○apacheのログをローテイトさせる為、httpd.confを下記部分を変更

#ErrorLog "logs/error.log"

ErrorLog "| bin/rotatelogs.exe <\$vpath\_webpath>/httplogs/error\_%Y%m%d.log 86400 540 "

#CustomLog "logs/access.log" combined

CustomLog "| bin/rotatelogs.exe <\$vpath\_weblog>/httplogs/access\_%Y%m%d.log 86400 540" combined

#### 5.4 パーミッションの変更

次のディレクトリおよび配下の所有者:グループをapache:apacheにする

<DocumentRoot>/kanshipht/ <DocumentRoot>/mrg/

<DocumentRoot>/plot/ <DocumentRoot>/httplogs/

#### 5.4 実行権限確認し、無ければ付与

sudo chmod +x <DocumentRoot>/bin/\*

# [PHP版] 監視システム構築手順

## 6. 最初のログイン

httpd, mysql 起動、<http://localhost>でhttpd起動確認  
確認出来たら、  
ログイン

<http://localhost/kanshiphp/login.php>  
user:admin password:manager

## 7. 構築後の機能制限

○メール送信は出来ない

メニュー「メール設定：送信」

○ホスト死活監視は、「ping監視」のみ

メニュー「監視ホスト追加」「監視ホスト修正」の死活

○グラフ関連は出来ない

メニュー「リソースグラフ」「プロットグラフ」「プロットログ」

## 8. 機能拡張

documentsのPDF、監視アプリ内マニュアルページ参照



# [PHPLinux] 監視システム構築手順

## 9. 初期化後画面と構成

